

浜田川総合開発事業（第二浜田ダム建設、浜田ダム再開発）

第二浜田ダム^{たんすい}湛水式を行いました！

平成21年3月から進めてまいりました第二浜田ダム建設工事も終盤を迎え、平成27年10月から試験湛水を開始しました。10月6日（火）に地元関係者、受注者、県、市など約40名の出席により湛水式を行いました。浜田河川総合開発事務所川西所長の湛水宣言により仮排水トンネルにゲートを下ろし、湛水が開始されると万歳三唱、くす玉割りを行い湛水開始を祝うとともに、無事故・無災害での工事完了を祈願しました。その後、第二浜田ダム管理所の開所式を行い、参加者に施設内を披露しました。



第二浜田ダム湛水式



ゲート降下状況



第二浜田ダム管理所開所式

試験湛水とは？

そもそも試験湛水とはなにか？それは、建設したダムに水を貯め、ダム本体や基礎地盤、貯水池周辺の安全性を確認するための試験です。第二浜田ダムでは約半年かけて洪水時最高水位まで水を貯め、その後、放流し徐々に水位を下げていきます。この試験湛水で安全性を確認して初めて第二浜田ダムは完成となります。

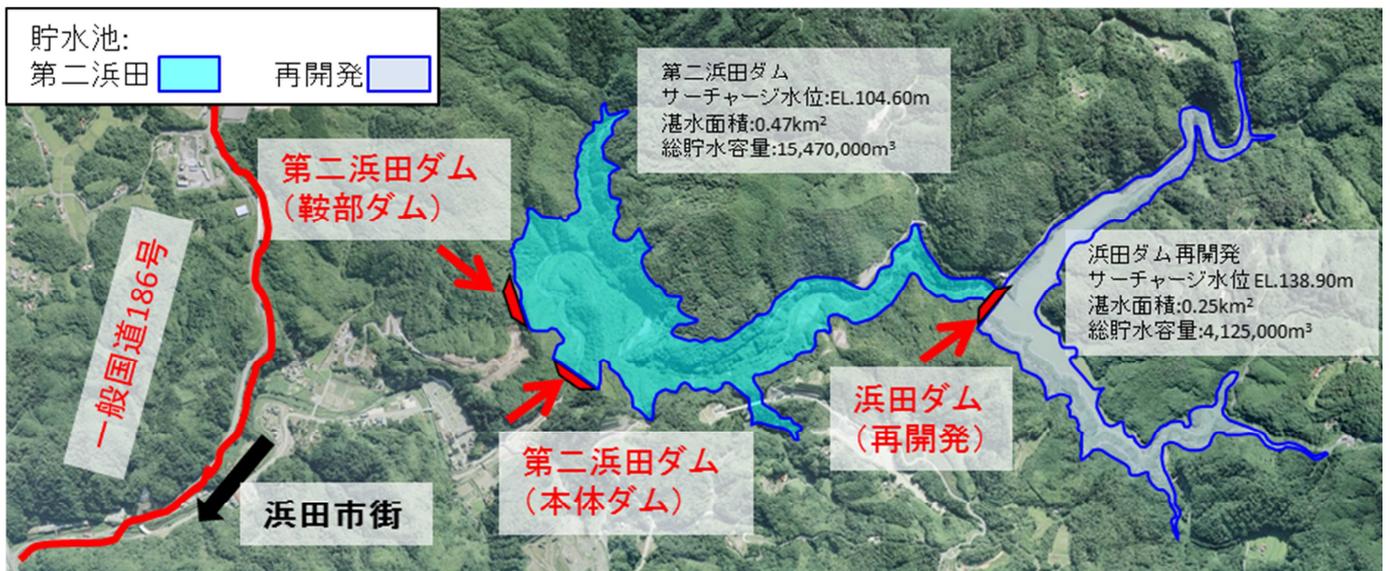
試験湛水の流れ

これまでは第二浜田ダムの上流から下流へ仮排水トンネルで川の水を流していましたが、試験湛水が始めるためにはこのトンネルを塞がなければなりません。湛水式ではトンネルの入り口にゲートを下ろし、試験湛水を開始しました。

試験湛水中は第二浜田ダム下流の河川環境の保全に必要な水量を供給します。

第二浜田ダムの湛水範囲は？

第二浜田ダムが完成すると、そのダム高(97.8m)は県内1位となります。第二浜田ダムのサーチャージ水位(標高104.6m)まで水を貯めると、湛水面積は0.47km²、総貯水容量は15,470,000m³となります。再開発後の浜田ダム(湛水面積0.25km²、総貯水容量4,125,000m³)とともに大きな洪水調節能力を発揮します。



第二浜田ダムの湛水範囲

警報区間が変わります

これまで、浜田ダムのゲートから放流を開始する場合に、浜田川へ立ち入らないようお知らせしていましたが、**今後は浜田川の水位が急激に上昇すると予想される場合にお知らせします。**また、警報区間は、第二浜田ダムから中芝橋（ろうきん浜田支店付近）までの区間に変更となります。（従来の警報区間は浜田ダムから浜田川河口まで）

グリーンアップ作戦を実施しました！

平成 27 年 8 月 5 日（水）に浜田市河内町、三階町、金城町伊木地区にて、今年度 2 回目となる「グリーンアップ作戦」を実施しました。第二浜田ダム関連工事の施工業者などで組織する「浜田川総合開発事業安全管理部会」の活動として行っているものです。施工業者の 2 企業体、並びに 14 社の計 43 人に浜田河川総合開発事務所のメンバー 26 人も加わり約 1 時間、第二浜田ダム周辺の県道、市道沿いのゴミ・空き缶拾いや側溝清掃を行いました。第二浜田ダム建設工事は終盤を迎えますが、引き続き現場周辺の環境美化に努めます。



お問い合わせ先

安心して暮らせる地域のために！ 島根県浜田河川総合開発事務所

〒697-0041 島根県浜田市片庭町 254 島根県浜田合同庁舎 5 F
 TEL 0855-29-5760（代表、夜間・休日連絡先） FAX 0855-29-5772
 ホームページ: <http://www.pref.shimane.lg.jp/hamadakasen/>
 メールアドレス: hamadakasen@pref.shimane.lg.jp